



令和元年度 陵南中学校学校だより

陵南の風

第7号

令和元年 11月7日発行

<住所> 〒899-6404 霧島市溝辺町麓 1680 番地
<電話> 0995-58-2303
<HP> <http://www.mct.ne.jp/users/ryouanntyuu> 文責 阿多石 英樹



Make the impossible possible <不可能を可能に>



校長 阿多石 英樹

ひと月半の間、多くの国民を熱狂させた「ラグビーワールドカップ 2019 日本大会」は、南アフリカ代表の優勝で幕が閉じられました。

トーナメント戦が始まった10月末、関東方面への出張があり、地下鉄を乗り継ぐため東京駅付近を歩いていると、いたる所で、「赤十字の入った白地のシャツ」や「首周りが黄色で緑色のシャツ」、そして「紅白のストライプに桜のエムブレムが付いたシャツ」などを着た人々を見かけました。そんなラグビー熱に沸いた日本ですが、大会が始まる前はと言うと・・・

「日本が8強入り？そんなの夢。あるわけじゃないじゃん！」と試合前には多くの日本人が思っていたことと思います。そんな「ラグビーなんて興味ないぞ～日本人」が、初戦の対ロシア戦を見て、「まあ～よくがんばったんじゃない～」と思い、第2戦の対アイルランド戦では「おいおい、ちょっとすごいんじゃない」となり、さらに第3戦の対サモア戦になると「マジかよ！」となりました。そして、予選最後の対スコットランド戦では、「日本が勝つに決まっている。こっちには田村のキックがある。福岡の頭脳プレーだってある。松島の走りも…」と日本の勝利を確信する立派な「にわかファン」に育ち、「行け、姫野。ジャッカルだ～」 「今のはノックオンじゃないか？」などとテレビの画面右下で覚えたルールで、ちょっとしたラグビーマニアにまで成長していたような気がします。その夜、加治木の花火大会に行くか、スコットランド戦を見るか、迷われた方々も多かったのではないかと思います。（私は、花火の音を聞きながら、テレビを見ました。）

ベスト8入りが決するスコットランド戦終了間際の21時41分。関東地区におけるテレビの瞬間最高視聴率は53.7%を記録したとのこと。夢物語とつぶやいていた多くの国民が、不可能が可能になる瞬間を目撃しました。この大会に向けての練習や準備など、日本代表が取り組んできたことは、私たちの想像をはるかに越えるものに違いありません。3大会連続で日本代表に選ばれ、同じスクラムハーフの流(ながれ)選手とともに、チームの中で最も小柄(身長166cm、体重75kg)な田中史朗(ふみあき)選手は、妻に「もし俺が試合中に死んだら…」と遺書めいた言葉を残し、試合に臨んでいたとのこと。「スポーツなのに…」と思いますが、2mを超える巨漢に命がけで向かい、「ベスト8」入りするには、それほどの覚悟が必要だったのかもしれません。

私たちは「できるわけないよ…」とか「ゼツタイ無理！」などと口にしがちです。やってもいないのに、始めてもいないのに、ただ感覚だけ、自信がないだけであきらめたりしてしまいがちです。「不可能を可能にする」。もちろん、いい加減な気持ちや中途半端な行動ではかなわないことです。けれど、今回の日本代表の活躍は、「やってやれないことはない！」ことを証明してくれました。「志望校合格」も「地区大会優勝」も、夢で終わらせたくはないものです。自分自身が本気に願い、これまでにはしたことの無いほどの努力をすることで、目標や希望は、夢ではなく、現実になるのだと思います。中学生の時は、そんなチャレンジがいつでもできる時期だと思います。 **Make the impossible possible**, 挑戦してみてください。

合唱コンクール・紅葉祭(文化祭)での大きな実り



かごしまの教育県民週間に合わせて、1日(金)に「合唱コンクール」と「紅葉祭(文化祭)」を開催しました。平日にも関わらず、多くの校区民や保護者の皆様に御参加いただき、誠にありがとうございました。力強い歌声や心地よいハーモニーなど、練習や指導の成果がしっかりと表れた合唱でした。とりわけ、最後のコンクールとなる3年生の歌声や、県の音楽コンクールである「春の祭典」への出場クラスを決める2年生の歌声は、一つ一つの言葉(歌詞)が持つ意味や思いが聴き手に伝わるすばらしい発表でした。1年生も先輩方の発表を聴き、今後の目標が見えてきたことと思います。

劇や学年・教科の発表、展示作品、実行委員や生徒会役員によるオープニングやエンディングなど、完成度の高いものも多く、私自身、講評でも述べたいことが多くて、困ってしまうほどでした。映像ソフトを使っての画像処理や編集能力の技術も高く、「本当に中学生？」と驚くほどの表現も数多く見られました。もちろん、そこには当日までの努力があり、見えない所で機械を操作したり、道具を作ってくれたりした人たちの支えがあったことは言うまでもありません。生徒、職員、そしてご覧になられたすべての皆様にスローガンどおり「最高の思い出」を贈ることができたのではないかと思います。

また、PTAによるバザーや物品販売なども朝早くから準備をしていただき、終日に渡り、活動していただきました。子ども達のためとはいえ、保護者の皆様の温かい御支援や御協力に心からの感謝を申し上げます。

第 38 回紅葉祭 秋のストーリー ～ みんなで創る最高の思い出に ～

今年度もクオリティーの高い発表ばかりで、大変見ごたえのある紅葉祭でした。1年生はジオパーク学習をまとめた劇『ジオパークへ行こう』, 2年生は平和について考えた劇『平和劇～南南西の彼方に～』, 3年生はこれまでの進路学習を基に10年後の自分たちを描いた劇『Our Hometown RYONAN』を発表しました。また、PTAによるバザーも並行して実施され、盛り上がった一日になりました。御来校の皆様方、ありがとうございました。



生徒会立会演説会（生徒会本部役員選挙）

なんと20名が立候補した立会演説会でした。選挙の結果、本部役員は次のメンバーに決定しました。

生徒会長：徳永沙羅(2年)

副会長：川口真子(2年), 中玉利和摩(2年)

書記：濱田莉子(1年), 会計：深見蓮稀(1年)

新しい役員の下、陵南中の生徒会は、益々活性化していきます。今後の活躍に期待しています。



第2回施設部奉仕作業のお礼と連絡です

前回の作業以降、延びていた雑草等をきれいに払っていただきました。ありがとうございました。さて、連絡です。昨年からの陵南中駐車場として活用させてもらっていたプール横の土地を、返却することになりました。今後、使用はできません。その隣の土地は、使用できます。



溝辺文化祭！



音楽部が出演しました。少ない人数での出演でしたが、透きとおった声で観客を魅了していました。

受賞おめでとう！

☆始良・伊佐地区中学校新人大会

【弓道】男子団体〔優勝〕陵南中弓道部(男子)
男子個人〔優勝〕酒瀬川侑也

【卓球】1年男子個人〔準優勝〕福元啓太

【野球】〔3位〕陵南中学校野球部

【水泳】個人〔2位〕谷口聖祈, 安田愛遥

☆霧島市剣道「形」選手権大会

<中学生以上 二段の部>

【優勝】川口真子, 湯田夏絵

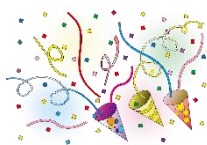
【準優勝】新中瑞希

<中学生以上 初段の部>

【三位】大住菜桜, 深見蓮稀

<中学生以上 無段の部>

【優勝】新中妃菜, 濱田莉子



☆『子どもの読書活動推進優良校』

【学校賞】陵南中学校

11月の主な行事予定

- 1日(金) 学校自由参観週間(～7日)
紅葉祭, 合唱コンクール, PTAバザー
- 5日(火) ノー一部活動デー
かごしま学力向上プログラム授業公開
(2年2組 授業者:田畑教諭)
- 6日(水) 3年生実力テスト(～9日)
英語暗唱大会
- 7日(木) 防災訓練〔不審者対応〕(6校時)
- 9日(土) 土曜授業
- 13日(水) 「音楽の集い」(3年生:午前中)
- 14日(木) 地区新人陸上大会, 部活動停止(～20日)
- 19日(火) 2学期末テスト(～21日)
- 20日(水) 校内美化活動
- 22日(金) 学年・学級PTA, 学校保健委員会
- 25日(月) 生徒総会(5, 6校時)
- 26日(火) 3年生三者面談(～12/4),
1・2年生教育相談(～29日)